

服務自己管理／指導統一

札幌白石記念フローチャート活用

病院(野中雅理事長・103床)は患者の内服薬自己管理に向け、フローチャートを作成し、病棟で運用。自己管理につながったケースが導入前の3割から半数程度に増加するなど効果が表れたという。

治療を終え退院した患者は、再発予防のために内服薬の用法を理解し、継続的に自身で管理する必要となるため、入院中からの習慣化が重視される。

しかし、自己管理を指導するための明確な基準がなく、開始時期や方法は、看護師個人で決定していた。そこで、患者が一定期間に用法を理解し、管理できるか否かを判断する目安として、フローチャートを活用した。

まず、病棟での服薬自己管理を把握するため、看護師24人を対象にアンケートを実施。自己管理の開始時期は、最短「4日目以降」、最長「13日間近が多かった。開始理由は「自宅への退院が決まりたため」が半数を占め、残りは「他部署から依頼」「明確な理由がない」など。

1週間分管理への移行時期は、自己管理開始後1週間以内としている看護師が41%。主に空包で評価しており、用法までは確認していないかつたと

いう。

まず、病棟での服薬自己管理を把握するため、看護師24人を対象にアンケートを実施。自己管理の開始時期は、最短「4日目以降」、最長「13日

間近が多かった。開始理由は「自宅への退院が決まりたため」が半数を占め、残りは「他部署から依頼」「明確な理由がない」など。

1週間分管理への移行時期は、自己管理開始後1週間以内としている看護師が41%。主に空包で評価しており、用法までは確認していないかつたと

いう。

導入1カ月後、看護師へのアンケートを再度実施したところ、「薬剤師から指導がいつ終了したか分からない」との声があつたため、指導の介

「患者全員が1日管理から始める必要があるか」「簡単に判断できるようにしてほしい」という意見も挙がったため、一定条件を満たした患者は1週間管理から開始できるようにし、マニユアルとフロー・チャートの用紙を1枚にまとめた。

その結果、1週間管理が増え、約半数が自己管理を開始。フローチャートを導入し、患者の選定や評価が明確となつたことで、経験の浅いスタッフでも判断に迷うことがなくなつたという。

さらに、業務の一環と

したことで患者全員のスクリーニングが可能となりた。フロー・チャートを改訂し、自己管理につなげたケースが導入前の3割から5割に増加。今後は、個々のニーズに合わせて対応できるよう、自己管理に向けた早期介入に院内全体で取り組む考

